



平成14年12月25日発行  
通巻49号

## 県内の市民活動 イベントのスケジュール

平成14年12月～平成15年2月に三重県内各地で開催される市民活動のイベントを事前にお知らせします。

## ネットワークのよびかけ

今月は6件。NPOはもちろん、県からの情報もあります。気になるテーマがあればぜひ、連絡してください。

## 助成金情報

市民活動を資金面からサポートする助成金情報です。今月号は5件の情報を掲載しています。

## 各地のネットワークから

県内各地のネットワークから届いた「生の声」です。さまざまな情報や近況を知ることができます。

## NPOリレーインタビュー

かわと ゆき

### 市民ガーデンティルス代表 川戸由起 さん

桑名市にある藤が丘デザイン公園をフィールドとして、活動している市民ガーデンティルス。公園に花を植える活動から見てきたのは、今後の生活スタイルをみんなで見つめ直すことでした。

### みえ市民活動ネットワークプロジェクト

### 市民活動支援センター交流会のお知らせ

市民活動支援センターがたくさんできてきました。今後も設立を検討されているところもたくさん。そんな同じ立場の人たちだから語れる悩みやヒケツなどなど。語り合っ、今後のセンターのあり方やネットワークへと結ぶる集まりを持ちたいと思います。お一人でも、一カ所でも多くのご参加を心よりお待ちしております。参加希望者は下記までお申込みください。

- とき／平成15年2月15日(土) PM1:00～PM5:00
- ところ／アスト津3階 交流スペース
- 参加費／資料代として300円
- 申込・問い合わせ先／518-0867 上野市福居町3317 W.T.A まちづくりセンター(センター長:中盛汀) Tel.0595-24-7612、090-9226-1526
- Fax.0595-24-7613 E-mail nagi4743@ezweb.ne.jp

### 桑員まちのファンクラブ設立準備会へのご参加の呼びかけ

みなさん、こんにちは。地域づくりや未来づくり、いろいろなところで、ふつうの人のすてきな活動がいっぱい行われています。そのいきいきとした活動は、いまや、まちになくってはならないものになっています。そのいろいろな活動は、思いを持ったおひとりおひとりが、自分の責任と判断で行っておられます。すてきな人たち、思いを語り、仲間を募り、夢を形にしておられます。それぞれの思いや活動が、もっとひろがりのあるものになっていったらいいなあと思います。その魅力が、もっと多くの人たちに伝わっていきいなあと思います。「心のゆたかさ」を、このまちいっぱいひろげていきたいと思ひます。そのために、ひとりひとりにはあまり負担のかからない形で、多くの人たちと、大きく、ゆるやかに、つながっていきいと思ひます。より多くの方々と、ひろがりあるネットワーク構築に向けて、「まちのファンクラブ」を立ち上げたいと思ひます。そこで、是非、設立呼びかけ人になっていただきたく、設立準備会へのご参加を案内申し上げます。何をどのようにやっていくかはきまっています。これから話し合っていきいと思ひます。

#### 【第1回準備会】

- とき／平成15年1月17日(金) PM7:00～PM8:45
- ところ／大山田公民館(桑名市コミュニティプラザの北側)
- 主催・問い合わせ先／桑員まちのファンクラブ設立準備会 511-0068 桑名市中央町1-8 東和ビル2階 市民活動共同センター内 Tel.0594-27-2700(平日午後)

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。

### ◆発行◆

514-0009

津市羽所町 700 番地

アスト津3階

みえ市民活動ボランティアセンター

Tel.059-222-5981

Fax.059-222-5971

E-mail open@mienpo.net

県NPOチームホームページ

http://www.mienpo.net/

三重県のホームページ

http://www.pref.mie.jp

市民活動ニュースはこちらにあります!

【地域の市民活動センター等】津市市民活動センター(津市大門7-15 津センターバース3階)/市民活動情報ネットワークずずかのぶどう(鈴鹿市白子駅前18-15)/南勢町市民活動連絡協議会(南勢町五ヶ所浦3917町民文化会館内)/特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会(伊勢市黒瀬町1323-4)/鳥羽NPOネットワークセンター・結(鳥羽市鳥羽1-3-8)/市民活動共同センター(桑名市中央町1-8東和ビル内)/四日市市民活動センター(四日市市郷町4-17)/アミ・ノット・スペース内(特)地域づくり券券みなと(四日市市川原町26-13)/寺子屋プロジェクト(四日市市天ヶ須賀4丁目9-19)/ウイリアム テルス・アップル まちづくりセンター(上野市福居町3317番地)/みえ市民活動ボランティアセンター(津市羽所町700アスト津3階)/上野市中央公民館/上野市立図書館/上野市民ITサポートセンター(特)平成・伊賀@LAN事務所/上野青年会事務所/名張市立図書館/名張青年会事務所/皇学館大学名張キャンパス/名張市総合福祉センター/エコリソート 赤目の森(名張市上三谷268-1)/明和町市民活動サポートセンター(明和町馬之上944-5)

【金融機関】百五銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店

【行政機関等】三重県庁県民ホール(津市広明町13)/三重県地域機関(各県民局)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松坂、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)/三重県民サービスセンター(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県女性センター/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/各市町村役場



# イベントスケジュール

ミニ企画展 三重を知ろう。。。。。

## 「三重の魚類」

- とき/平成14年12月10日(火)~平成15年3月9日(日)
- ところ/三重県立博物館 第3展示室
- 入館料/中学生以下無料 高校生・大学生30円 一般40円
- 内容/三重県には川にすむ魚が77種類、海にすむ魚が約900種います。三重県のため池・川・河口・伊勢湾や熊野灘に、どのような魚がいるのか調べてみましょう。会場にはウナギ、ナマズ、ドジョウ、アユ、イワシなど、さらにサメを展示しています。
- 問い合わせ先/514-0006 津市広明町147-2 三重県立博物館 Tel.059-228-2283 Fax.059-229-8310



## フェアトレードと授産施設商品とのジョイントセール

- とき/平成15年1月18日(土)
- ところ/みえ県民交流センター(津市羽所町700アスト津3階)
- 内容/途上国の生産者が適切な労働条件で働けるよう、彼らがつくった商品を公正な価格で取り引きし、現地の材料を使い、伝統的な技術の維持や加工技術の向上などを支援するのがフェアトレード。授産施設製品とは県内に130以上ある福祉工場・授産施設・小規模作業所で自立を目指してつくられている商品のこと。これらは国の違い、ジャンルの違いはあっても商品を購入することで経済的自立を援助することになるのは同じです。ジョイントすることで相乗効果と、更なる商品開発への一助となることも目的としています。
- 問い合わせ先/市民情報ネットワーク すずかのぶどう チームはぐくみ(担当:杉野) Tel.&Fax.0593-87-0767 E-mail budou@mecha.ne.jp

## 文芸雑誌初時雨創刊10周年記念 新春文化講演会

- とき/平成15年1月7日(火)AM9:30開場 AM10:00開演
- ところ/アストホール(津市羽所町700アスト津4階)
- 参加費/無料
- 内容/「風水で夢づくり」というテーマで南山大学教授、目崎茂和さんにお話をいただきます。AM11:00からは、ふれあいトークも行います。定員は270人です。
- 主催/問い合わせ先/NPO俳句みえ Tel.059-255-2651

## MIEC21(三重県国際交流団体連絡会)

- とき/平成15年1月21日(火)PM7:00~PM9:00
- ところ/アスト津3階ミーティングルーム3号室
- 内容/中国の方をお招きし、男女共同企画について学びます。参加自由。国際交流・国際理解に関心をお持ちの方、お待ちしております。
- 申込/問い合わせ先/薦田正夫 Tel.059-227-2392 E-mail mkomoda@zvtv.ne.jp

## 科学技術振興センター研究成果一般公開講座

- 「暮らしを支える地域の技術~すこやかに・たくましく生きる活力源~」
- とき/平成15年1月18日(土)PM1:00~PM4:00
  - ところ/プラザ洞津 飛翔(津市新町1-6-28)
  - 参加費/入場無料、事前予約不要。1講座のみの出席も可。
  - 内容/科学技術振興センターでは、県民の皆さんに科学への関心を深めていただくため、皆さんに身近な「食」及び「健康・暮らし」の話題を取り上げ、各研究部の研究員が地域を育む技術を親しみやすく伝える一般公開講座を実施しています。今回は、科学技術振興センター各研究部が主体的に取り組んできた研究成果を特集します。
  - 【講座プログラム】
  - PM1:05~PM1:30(1)新しいお米のつくり方
  - PM1:30~PM1:55(2)特色ある豚肉づくり
  - PM1:55~PM2:20(3)この魚を知っていますか?「クエ・マハタ」
  - PM2:30~PM2:55(4)知っておきたい!インフルエンザ情報
  - PM2:55~PM3:20(5)土鍋の今どき内外事情
  - PM3:20~PM3:45(6)ニホンザルによる農林産物被害!その対策を探る
  - 問い合わせ先/三重県科学技術振興センター総合研究企画部研究評価グループ Tel.0593-29-3623
  - 主催/三重県科学技術振興センター

## 三重県の“しごと”をみんなで評価

- 「監査フォーラムinみえ2003」
- とき/平成15年1月22日(水)PM1:00~PM4:30
  - ところ/アストホール(津市羽所町700アスト津4階)
  - 参加費/無料
  - 内容/三重県では全国に先駆けて政策評価に取り組んできましたが、今年度、全国で初めて第三者機関である監査委員が県行政の評価を行いました。このフォーラムでは、こうした三重県の取組をご紹介しますとともに、関西学院大学の石原俊彦先生による講演、NPO法人「コミュニティシンクタンク評価みえ」のメンバーなどによるパネルディスカッションを開催します。この中で、全国の行政評価の事例や県内の市民活動事例を考えながら、県の行政サービスの向上につなげていきたいと考えています。あなたもこのフォーラムにご参加いただき、三重県の“しごと”を評価してください。
  - 申込方法/平成15年1月17日までに電話、Fax、E-mailで下記へ。
  - 申込/問い合わせ先/514-8570 津市広明町13番地 三重県監査委員事務局 Tel.059-224-2924 Fax.059-224-2220 E-mail kansai@pref.mie.jp

## 『災害時のバリアを考える』 避難訓練付 パネルディスカッション

- とき/平成15年1月18日(土)PM1:30~PM4:00(8年前の1月17日の早朝、阪神淡路大震災が発生しました)
- ところ/アストホール(津市羽所町700アスト津4階)
- 参加費/資料代100円(参加申込不用)
- 内容/災害が発生した時に、身体的ハンディキャップを持った方に向けてどんな対応を考えるべきか、さまざまな立場の方にパネリストとして登場いただき話し合います。例えば、バリアフリーが進みたくさんの施設が車いすで利用できるようになった反面、災害時の避難には問題があります。エレベーターは使用できず非常階段を使うとしたら、どうするのでしょうか。聴覚に障害がある人に非常事態の発生を伝える手段は?また、災害後届く救援物資は不特定多数を想定しているため、アレルギーを持つ子どもへの食物は別の対応策が必要です。また、催しの最中に避難訓練を実施し、さまざまなハンディキャップを持った人と実際に避難することでどんな問題が生じるかを検証します。当日は一般参加大歓迎。要約筆記、手話通訳もあります。
- 問い合わせ先/萩野(津市ボランティア連絡協議会会長) Tel.059-221-5389 Fax.059-221-5388 E-mail haigno@mint.or.jp
- 主催/津市ボランティア連絡協議会

## こども心の発達相談会

- とき/平成15年1月26日(日)PM1:00~
- ところ/NHK津放送局 会議室 ●参加費/無料
- 内容/NHK厚生文化事業団中部支局では、心の発達に遅れや障害のあるお子さんの療育についての相談会を開きます。ことばが遅れている、はっきりしゃべれない、なめらかに話せないなど、あるいは知的な面や行動面など発達に問題を持つ子どもさんの家庭での教育や就学の問題について、専門の先生と相談していただけます。相談講師は三重大学教育学部教授・小山正さん、三重県立小児心療センターあすなろ学園園長・西田寿美さん、皇學館大学社会福祉学部教授・松下淑さんです。
- 応募締切/平成15年1月15日(水)
- 申込方法/電話またはハガキで、住所、氏名、電話番号、お子さんの名前、年齢、性別を知らせてください。
- 申込/問い合わせ先/461-8725(住所不要) NHK厚生文化事業団中部支局 Tel.052-952-7150 514-8531(住所不要) NHK津放送局『発達相談会』係 Tel.059-229-3012

## まちづくり仕事人交流座会in伊勢

- とき/平成15年2月9日(日)AM10:00~PM4:00(交流会はPM5:30まで)
- ところ/伊勢河崎商人館角吾座および河崎のまち
- 参加費/1000円(弁当付)※交流会参加の場合は2000円



●内容/「せまーい所でセコ(世古)セコ(世古)しませんか」をテーマに、かつて伊勢の台所として栄えた河崎が培っていた「水運のにぎわい」や「コミュニティ」「商いの文化」「遊びの文化」などを再評価し、新しい文化や産業の創造のためのエネルギーとして、どう発展させていくかを探ります。

●申込・問い合わせ先/ザ伊勢講(橋本義男)

Tel.090-8155-2365

## 「ヘルシーピープルみえ・21」に参加しませんか!



三重県では、みなさんの健康づくりを、NPO、企業、市町村などと協力して、社会全体で支援しようとする、三重の健康づくり総合計画「ヘルシーピープルみえ・21」(通称「ヘルピー」)をつくり、いろいろな事業を進めています。また、今年、4月からは全国に先駆け「三重県健康づくり推進条例」を施行し、将来に向け健康づくりに取り組むことを規定したところです。ヘルピーへ参加をいただける団体等ございましたら、下記までご連絡ください。また、PR用のパンフレット等もご用意していますので、同じく下記までご連絡を。

●問い合わせ先/三重県健康福祉部健康づくりチーム

Tel.059-224-2294 Fax.059-224-2340

ホームページ <http://www.pref.mie.jp/kenkot/kurashi/HEALTHY/index.htm>

または最寄りの県民局保健福祉部(保健所)「ヘルシーピープルみえ・21」担当まで。

## 韓国から李 盛大さん、辛 閔賛さんをご招待

### 第2回李香賢さん、閔根史郎さん追悼チャリティーコンサート

●とき/平成15年2月11日(祝)PM2:00~PM4:00

●ところ/三重県文化会館大ホール(津市一身田上津部田1234 Tel.059-233-1111)

●内容/2001年1月26日午後7時20分、東京都JR新大久保駅。ジャパン・コリア・チャイナの友好をかかげる私たちJKC-artは彼らの崇高な行動を国際交流の象徴として風化させず、長く語り継ぐために韓国と日本で恒久的に「追悼コンサート」を開催します。韓国から故李香賢さんのお父さん、お母さんご一行をご招待します。皆様のまごころで、傷心のご両親をお慰めしましょう。

●問い合わせ先/特定非営利活動法人JKC-art

Tel.059-293-5144 Fax.059-293-5247

E-mail [kouho@zvtv.ne.jp](mailto:kouho@zvtv.ne.jp)

ホームページ <http://www.zvtv.ne.jp/kouho>

## ネットワークのよびかけ

### 「住まいの語り部」住宅耐震分野制度開始 きいてみていっしょに考えてみましょう

■「住まいの語り部」とは

地域住民のみなさんが、地域の住まいとまちの課題(中でも住まいとまちを地震に耐えるようにする=耐震化)について考えていただくきっかけとなるように、自治会等の集まりなどでお話をする専門家=「住まいの語り部」の名簿(人財バンク)を県がまとめて、これらの方の活動をお手伝いさせていただきます。派遣についてみなさんの費用負担はありませんので、ぜひご利用ください。

・話の内容:例えば、住宅耐震化についての説明、自己診断「わが家の耐震診断」教室等です。具体的には以下により語り部の方と直接打ち合わせていただくこととなります。

■申込みから実施まで

(1)連絡~申込み:みなさんの代表者が、市町村・県の窓口にある住まいの「人財バンク」(名簿)登載の語り部の方と連絡調整(おおむね1カ月前。民間団体の窓口による連絡もあります)のち「住まいの語り部制度利用申込書」に必要事項を記入して、市町村窓口にお出しく下さい。(2)確認(県から確認書をみなさんへ)(3)語り部活動(4)報告(語り部から報告書を市町村へ)(5)報償費の支給(県から語り部へ)

■あわせて、住宅耐震分野に限らない「語り部」(話していただける方)も募集中です。

住まい・まちに関する知識、経験、思いを地域での活動に生かすことを希望される方で、地域の住まいとまちづくりについての多様な課題を身近なところで解決することができるように自治会等の集まりで話をしていただける方を募集します。

・活動分野:環境共生、健康住宅、インテリア、景観、住環境、地域性、建築技能等地域の住まい・まちづくりに関連する分野(耐震、バリアフリー化分野での建築専門家としては、別途開催する講習会修了者なので今回は対象外です)

・語り部になるには、活動したい内容をA4紙半分程度にまとめた「一般語り部企画書」と「アドバイザー名簿登載申請書」を提出していただきます。その後半日程度の研修会を実施します。様式については以下の担当へお問い合わせください。

●問い合わせ先/三重県県土整備部住宅チーム住宅計画グループ 514-8570(住所不要) Tel.059-224-2720 Fax.059-224-3147 E-mail [jutaku@pref.mie.jp](mailto:jutaku@pref.mie.jp)

ホームページ <http://www.sumai-mie.jp/21/>

※様式や人財バンク・語り部制度の概要はホームページでごらんになれます。地域の耐震性を調べて、その結果をもとにお話する「外観診断・出前トーク」もあります。

## 間伐材を利用しませんか?

手入れ不足の森林の整備のために、間引きされた木(スギ・ヒノキ直径10~15cmくらいの丸太)を有効利用しませんか?但し、使用目的は森林にふれあう地域活動や公園づくりなど、みんなのための間伐材の利用に限らせていただきます。利用方法はベンチ、遊具、階段など工夫しだい。場所は県内の3カ所。林道のそばです。詳細は該当する県民局生活部森林創造チームへお問い合わせください。

●ところ・問い合わせ先/津地方県民局 Tel.059-223-6088

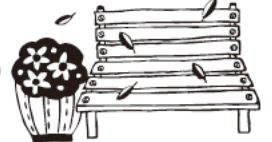
(一志郡白山町大字藤字井戸ヶ谷ほか)

伊賀県民局 Tel.0595-24-8144

(阿山郡大山田村大字奥馬野字三谷河内)

紀北県民局Tel.05972-3-3503

(北牟婁郡紀伊長島町十須字広内)



## 読まなくなった・いらなくなった絵本を集めています!

スフィア(Sphere)は市民による国際理解や国際交流、そして国際協力を推進し、また、それらの情報を地域に発信していくことを目的として設立された伊勢在住のボランティアグループです。スフィアでは下記の9種類の絵本にカンボジア語(クメール語)の訳文を貼り、カンボジアに贈る活動を行っています。未だポルポト時代の傷が癒えぬカンボジア。3年前から政情が安定し、ようやく経済復興が始まりましたが、国の復興にとって重要な鍵となる教育現場では、教育者や教材も著しく不足。子どもたちにとって大切な絵本をはじめとする書籍の不足は、深刻な問題です。そこで、「少しでも彼女や彼の手に絵本を届けてあげたい」という気持ちから、絵本を集めています。もし、あなたのお手元に読まれなくなった絵本(下記の9種)がありましたら、ぜひ私たちの活動にご協力ください。スフィアでは98年、2002年と2回のカンボジアスタディツアーを行い、合計104冊の絵本をカンボジアの子どもたちに届けました。

【集めている絵本】

- |                 |              |
|-----------------|--------------|
| 1、ぐりとぐら         | 2、おおきなかぶ     |
| 3、三びきのやぎのがらがらどん | 4、スーホの白い馬    |
| 5、そろいろのたね       | 6、てぶくろ       |
| 7、のろまなローラー      | 8、100まんびきのねこ |
| 9、プロメンのおながくたい   | (全て福音館書店発行)  |

●問い合わせ先/国際協力ボランティアグループ スフィア

共同代表:奥村 Tel.&Fax.0596-22-7326

共同代表:事務局:亀山 E-mail [Kameyama@poplar.ocn.ne.jp](mailto:Kameyama@poplar.ocn.ne.jp)

## 人間賛歌の大合唱「未来へ・輝く希望の絵画展」

文化・芸術の反映が平和への第一歩であり、その根本には教育の興隆が必要不可欠であると思ひ、一人ひとりの人間の成長を願ってやまない特定非営利活動法人NPOアートホックとして、現実に即した平和、文化、教育への意志結集の道が「未来へ・輝く希望の絵画展」であると確信し、光り輝く「絵画展」にしていこうと決意し、開催します。

【募集要項】

●応募締切/平成15年2月28日(金)

●出品料/無料

●作品規定/絵画作品は八切りサイズの画用紙使用。縦横は自由。水彩絵の具、色鉛筆





など、用具は問いません。原則は絵画ですが、何らかの理由で絵画を描くのが困難な方は詩など上記題材に添った内容の文字・点字で表現してください。この場合の用紙サイズはA4。但し、出品作品は未発表のものに限ります。

●資格/三重県・富山県に在住の障害者(児)の方

【会期・会場】

●とき・ところ/『三重会場』平成15年3月21日(祝)～23日(日) なや学習センター2階(四日市市) ※富山県でも開催されます。

『インターネット絵画展』平成15年3月23日(日)～5月31日(土) <http://www.ad-hoc.jp/arthoc-kaigaten>

●提出先・問い合わせ先/510-0971 四日市市南小松町2731番地3 特定非営利活動法人NPOアートホック事務局(実行委員長:田中瑞穂) Tel.0593-28-3130、090-4089-1918

## フリーマーケット情報

【三重県フリーマーケット協会】

『フリーマーケットin四日市ドーム VOL.10』

●とき/平成15年2月11日(祝) AM10:00～PM4:00

●ところ/四日市ドーム(四日市市大字羽津字甲5169)

●入場料/当日500円 前売300円

●申込・問い合わせ先/510-0071 四日市市西浦1丁目2-17 特定非営利活動法人三重県フリーマーケット協会 Tel.0593-55-2939 Fax.0593-55-2959 E-mail [mfa@cty-net.ne.jp](mailto:mfa@cty-net.ne.jp) ホームページ <http://www.cty-net.ne.jp/~mfa>

## 助成金 ニュース

### 三菱財団社会福祉事業並びに研究助成

●受付期間/平成15年1月8日(水)～1月22日(水)期間内必着

●助成の対象となる団体/日本国内において事業ないし研究の継続的拠点を有する者(国籍等は不問)。営利目的の企業等並びにその関係者は対象外。

●助成の対象となる活動/現行制度上、公の援助を受け難い、開拓的ないし実験的な社会福祉を目的とする民間の事業(原則として法人に限る)。開拓的ないし実験的な社会福祉に関する科学的調査研究(個人・法人等いずれも可)。

●対象事業の期間/1年を原則としますが、必要やむを得ぬ場合、「2か年継続」も認められます。(2か年度分の助成申込を一括査定、助成金は2か年で使用)

●助成の額/総額約9000万円を予定。1件宛の金額は特に定めなし。(採択予定件数約30件程度)

●応募方法/申込書は原則としてホームページからダウンロードしたものを使用。別に当方より本件助成周知先宛既に送付済のもの、あるいはそのコピーを使用いただいても結構です。上記のいずれの方法も利用できない場合は、下記まで「宛先記入済の返信用角2(A4サイズ)封筒に、140円切手貼付」の上、郵送で請求してください。申込書の提出は郵送で行ってください。

●問い合わせ先/(財)三菱財団事務局 100-0005 東京都千代田区丸の内2丁目5番2号三菱ビル15階

Tel.03-3214-5754 Fax.03-3215-7168

ホームページ <http://www.mitsubishi-zaidan.or.jp>

### (財)安田生命クオリティオブライフ文化財団

#### 地域の伝統文化分野保存維持費用助成

●受付締切/平成15年1月31日(金)消印有効

●助成の目的/わが国において、古来地域に伝承されてきた民族の遺産とも言える固有の伝統的な文化が時代とともに消滅しつつある現在、こうした歴史的・文化的に価値ある地域の民俗芸能(民俗行事、民俗音楽を含む。以下同じ)・伝統的生活技術(民具製作技術、伝統工芸を含む。以下同じ)等を正しく後世に残すことが時代の責務であるとの考えに立って、当財団は、これらの継承のための諸活動、とくに後継者育成に必要な技能修得のための諸活動への支援を行います。

●助成の対象/古来各地に伝わる「民俗芸能」ならびに「伝統的生活技術」の継承、とくに後継者育成のための諸活動に努力をしている個人または団体。

●助成の額/「民俗芸能」は1件につき70万円を、「伝統的生活技術」は1件につき40万円を、それぞれ限度とし、申込内容を検討の上、具体的な助成金額を決定します。

●応募方法/申込に際しては、市町村教育委員会、公立博物館、学識経験者等からの推薦ならびに各都道府県教育委員会または知事部局の文化関係課・文化財関係所管課の推薦とコメントが必要です。所定の申込書に記入し、推薦書に推薦者の推薦内容とコメントおよび捺印を得た上で、関係資料と

ともに送付願います。申込書はホームページからダウンロードするか、A4版サイズの用紙が入る封筒に120円切手を貼付の上、下記まで請求。

●問い合わせ先/(財)安田生命クオリティオブライフ文化財団 160-0023 東京都新宿区西新宿1-10-1 安田生命第二ビル4階

Tel.03-3349-6194 Fax.03-3345-6388

ホームページ <http://www.yasuda-qol-bunka.or.jp/>

### 米日財団 日米相互理解プロジェクト助成 (コミュニケーション/世論)

●受付締切/2月

●助成の対象となる団体/無制限です。海外日本人、在日外国人、海外外国人も応募できます。ただし、個人や営利団体は対象外です。

●助成の対象となる活動/コミュニケーション/世論:日米両国民の相互理解のため、メディア、非営利団体、世論調査、またオピニオン・リーダーなどの各分野におけるさまざまなプロジェクトを通じ、人物、情報、アイデアを交換する機会を提供するもの。

●応募方法/直接、財団に申請してください。専用の申請用紙はありません。

●問い合わせ先/米日財団 107-0052 東京都港区赤坂1-14-2

霊南坂ビル1階 Tel.03-3586-0541 Fax.03-3586-1128

ホームページ <http://www.us-jf.org>

### 平成15年度第1期 セブン-イレブンみどりの基金 環境市民ボランティア活動助成制度

●受付締切/平成15年2月28日(金)必着

●助成の目的/セブン-イレブンみどりの基金は、それぞれのボランティア団体の活動の原動力であるボランティア精神や、団体の自主性を尊重し、決して“助成する側、される側”という関係は望んでおりません。私どもがお客様からお預かりした募金をパートナーとして日本の環境のために有効に活用して頂けると信じて、市民の方々の想いである募金を託したいと考えております。皆様の活動が目的を達成するために、何が本当に必要で、そのためにどうしても足りないものをご申請ください。

●助成の対象となる団体/日本国内において「環境」を主テーマとして活動している下記のいずれかに当てはまる団体

(1)環境市民ボランティア団体(行政、社団法人、財団法人、自治会、また観光協会や商店会等の団体、またはこれらの団体が主導している活動については対象になりません)

(2)「環境の保全を図る活動」を活動目的として申請認定されている特定非営利活動法人(NPO法人)

●助成の対象となる活動/助成申請する「活動の目的」が下記のいずれかに当てはまる(複数可)

(1)自然環境保全 (2)地域環境美化 (3)体験型環境学習

(4)生態系保護(環境省が定める「レッドリスト・レッドデータブック」で絶滅危惧に分類されている動植物の保護に関する生態系保護活動に限る)

(5)環境パートナーシップに基づくまちづくり・地域づくり

●対象事業の期間/平成15年3月1日～平成16年2月29日

●助成の額/1団体あたりの助成金上限は敢えて設定していません。

●応募方法/申請書はホームページからダウンロードするか、下記まで問い合わせしてください。

●問い合わせ先/セブン-イレブンみどりの基金環境市民ボランティア活動助成事務局(担当:高木、坂本) 105-0013 東京都港区浜松町1-27-9 新浜松町ビル6階 Tel.03-5733-2526 Fax.03-3435-1065

E-mail [oubo@7midori.org](mailto:oubo@7midori.org) ホームページ <http://www.7midori.org>

### 公益信託自然保護ボランティアファンド活動助成

●受付締切/平成15年4月7日(月)必着

●助成の対象となる団体/1、営利を目的としないこと。

2、会則もしくは一定のルールを持ち、代表者などの定めがあること。

3、団体の構成、役員、選任方法などの事業運営に重要な事項が、特定の者などの意志に従わずに決定、運営されること。

4、申請団体(協議会)に、(財)自然公園財団(本部または支部)か地方自治体(関係機関を含む)または学識経験者のいずれかが構成員として参加していること。

5、環境省地区自然保護事務所または都道府県自然保護担当部局の推薦を受けられること。

●助成の対象となる活動/国立公園及び国定公園の自然保護上、重要な地域における自然環境の保全に資する実践的活動で地域の理解や参加協力を得られる広範なボランティア活動であること。



例…自然公園の美化清掃活動、希少植物などの植生復元活動や野生生物の生育環境保全活動、登山道、探勝路、園地などの利用環境の維持活動、公園を訪れる利用者へのインタープリテーション活動や自然解説などの自然ふれあいの推進

- 助成の額／総額700万円。原則として1件50万円以内。
- 応募方法／所定の書類に必要事項を記入・捺印。推薦者を経て、下記へ。
- 問い合わせ先／(財)自然公園財団公益信託自然保護ボランティアファンド(担当:庶務課 赤城) 105-0003 東京都港区西新橋2-11-6

ニュー西新橋ビル8階 Tel.03-3592-1171 Fax.03-3592-1175  
E-mail bes@bes.or.jp ホームページ <http://www.bes.or.jp/>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやアクセスサービスでも閲覧できます。  
財団法人 助成財団センター  
Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858  
ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

## 北勢地区

特定非営利活動法人 地域づくり考房 みなと  
510-0033 四日市市川原町26-13  
辻本晴美 harutuji@m2.cty-net.ne.jp

### 『ご存知ですか!!特定非営利活動法人「三重いのちの電話協会」』

三重県内・全国共に、地道な活動をされている団体さんが沢山あります。私は、大阪、京都、四日市と引越してきました。前にすんでいたところで、こうした地道な活動にたずさわられている方たちにお目にかかる機会が何度かありました。資金不足、人手不足の中で、奮闘しておられるのには、いつも頭の下がる思いでした。こうした地道な活動をされている中の1つの団体さんから、原稿をお寄せいただきました。実際に必要としている人には、なかなかこういった活動が届きにくい状況があるのではないかと思います。活動内容をお知らせし、相談窓口の存在を知っていただくことで、一つでも役に立った事例がふえればいいなとおもいます。

が求められるのです。訓練の費用は全て自己負担ですし、その後の活動もボランティアとして活動しています。

#### 【電話相談の匿名性】

電話相談ではお互いに名前を名乗りません。お互いに匿名ということで、どこの誰か分からないからこそ、誰にも話せない深刻な悩みも安心してオープンに出来ます。

#### 【自殺予備いのちの電話】

いのちの電話はもともと自殺防止運動から始まっています。近年自殺者が急増し、平成10年から4年間3万人を超えています。これは交通事故死者の3倍になります。三重県でも、自殺者の統計を見ますと、平成10年には498人と、県内でもそれまでの年に比べて倍以上増加しています。そこで厚生労働省は、昨年自殺防止のための総合的な対策に取り組むことになりました。そして、いのちの電話にたいして協力の要請があり、昨年より厚生労働省の委託を受けて、12月1日から7日までの1週間を全国で「自殺予防いのちの電話」としてフリーダイヤルによる電話相談を実施しました。

#### 【財政支援】

相談は相談員の無償の奉仕によって支えられていますが、センターの様々な経費は、一般の方々による会費・ご寄付で支えられています。どうか特定非営利活動法人「三重いのちの電話協会」に、暖かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。資金ボランティアとしてご支援いただくには、正会員:会費年額一口10000円 賛助会員:会費年額 一口3000円、寄付金は特に額を定めません。

会費・寄付のお金振り込み先は、〔郵便振替口座番号〕00810-4-50997〔口座名義〕特定非営利活動法人三重いのちの電話協会、三重いのちの電話の活動が末永くつづきますようにご支援をお願いいたします。

●相談電話番号／059-221-2525

●相談時間／毎日〔365日〕PM6:00～PM11:00

●問い合わせ先／514-8691 津中央郵便局私書箱25号 特定非営利活動法人三重いのちの電話協会

Tel.059-213-3975 Fax.059-213-3976



#### 【いのちの電話とは】

私たちのまわりには、さまざまな困難をかかえて独りで悩み、苦しみ、生きる力を失いかけている人々がいます。いのちの電話は、こうした危機に追い込まれている人々と電話を通して心をかよわせ、再び生きる喜びをとりもどされることを願いつつ活動しています。

#### 【三重いのちの電話】

三重いのちの電話は全国で50番目のセンターとして、昨年5月に開局しました。相談時間は現在PM6:00～PM11:00迄、365日毎日休むことなく対応しています。開局後1年半経ちますが、相談件数は毎月増えつづけています。悩みの相談が増えるということは喜んでいいのかどうか複雑ですが、一人で悩んでおられる方がいらっしゃれば電話をかけていただければ幸いです。将来は、いのちの電話の基本姿勢である24時間「眠らぬダイヤル」として活動出来るよう努力しています。

#### 【いのちの電話相談員】

相談員になるには、1年～2年の訓練を受けて、審査にパスし、認定を受けた人が相談員になります。電話相談にはどんな相談が飛び込んでくるかわかりません。こういった相談にきちんと対応出来ることが必要で、そのためには訓練を受けて認定されるということ

## 鳥羽地区

鳥羽NPOネットワーク・結  
鳥羽市鳥羽1-3-8 Tel.090-1625-9848 Fax.0599-25-1444  
E-mail nponet-yui@hyper.cx  
ホームページ <http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Apricot/1615/>

### 「鳥羽フリーマーケット同好会」

あちらこちらで盛んに行われるフリーマーケット。もちろん鳥羽でも開催されています。そして鳥羽でフリマ、といえば「あの人に聞いてみなくちゃ」と言われるくらいのフリマ・スペシャリストが、この会の代表・中村勲一郎さんです。

「フリーマーケットが各所でしょっちゅう開催されているまちは、おもしろく、豊かで、住みよいまちだと思うので、鳥羽がそういうまちである一助になれば、と思っています。また、潜在的にある『買いたい』『売りたい』『参加したい』というニーズを掘り起こしたいです」。

数年前、中村さんの事業所前の駐車スペースで、友人達でスタートしたフリマ。最初は、売る方も見に来てくれる方も「フリマってなに?」という感じでしたが、回を重ねることによって認知度が上がり、様々なイベントから声がかかったり、企画運営を相談されたり、という事も増えてきました。

「フリマがこのまちに定着したら、目的は達成したことになります」とにっこり笑う中村さん。実は中高年男性のハートをつかんで

離さない、ちょっとマニアな品揃えを誇るフリーマーでもあります。ぜひ鳥羽のフリマで、その充実ぶりを確かめてみてくださいね。



おもちゃに、子どもたちは興味津々。



やはり一番人気は服屋さん

#### 鳥羽フリーマーケット同好会

代表:中村勲一郎

鳥羽市安楽島町672-5 Tel.&Fax.0599-25-7102

E-mail anikakin@zvtv.ne.jp



## ■伊勢のNPOニュース!

### 車椅子だけでなく、視、聴覚障害者にも役に立つ! 香りや音のバリアフリー情報も取り入れた 「伊勢おはらい町・おかげ横丁ぱりふりイラストマップ」を 伊勢志摩バリアフリーツアーセンターが発行しました

#### ■伊勢志摩バリアフリーツアーセンターからメッセージ

伊勢志摩バリアフリーツアーセンターは、障害者や高齢者の方が安心して伊勢志摩の旅を楽しんで頂くために、ボランティアで伊勢志摩のバリアフリー情報を発信し、旅行相談や観光地のバリアフリー化を啓発するセンターです。情報は、「専門員」と呼ばれる地元の障害者スタッフが伊勢志摩地域の観光スポットや宿泊施設を調査し、当事者の目で確かめた現状を個人、団体など、お客様のご相談に応じて案内しています。また、地元観光地のハード、ソフト面のバリアフリー化を図るため、施設側へのアドバイスや、車椅子での海水浴やスキューバダイビング、カヌー、ヨット、釣りなどのアクティビティの推進にも力を注ぎ、ニーズにあった情報提供を行っています。情報の発信方法は、主にホームページですが、電話やFAX、メールなども無料で案内。

「伊勢志摩に住む友人に聞いてみよう!」  
そんな軽い気持ちでお問い合わせください。

マスコットの「ばぶ鳥」は  
バリアフリー情報を常に先取り!



〒517-0011 三重県鳥羽市鳥羽1-2383-13  
鳥羽一番街1F  
TEL0599-21-0550 FAX0599-21-0585  
URL <http://www.barifuri.com>  
E-MAIL [iseshima@barifuri.com](mailto:iseshima@barifuri.com)

開局時間(季節により変動あり) 午前9時～午後5時30分 木曜定休

マップを手にする橋本あゆみセンター局長。希望者に配布されているので、欲しい人は伊勢志摩バリアフリーツアーセンターまで連絡を。B3/4折型



そもそも2001年に伊勢・鳥羽・志摩ガイド「おでかけ! チェアウォーカー」を発行したのがきっかけで、はじまった伊勢志摩のバリアフリー観光事業。時代のニーズに応じたNPOとして多方面から注目され、バリアフリー先進県をめざす行政との協働、観光業界との協働、教育現場へのバリアフリー講演など、幅広いアクションを展開しています。今後は、地域のボランティアとの連携も作り、ソフト面のカバーによるバリアフリー化も進めていきたいと。

※記事への問い合わせは...

NPO法人伊勢志摩NPOネットワークの会 事務局  
TEL0596-20-6616 FAX0596-20-6617  
E-mail [ponpon@mint.or.jp](mailto:ponpon@mint.or.jp)  
<http://www.po-npo-n.com>

# 伊賀地区

## W.T.A.まちづくりセンター情報 No.8

〒518-0867 上野市福居町3317 休:土・日・祝祭日  
Tel:0595-24-7612 090-9226-1526 年単位12月26日まで  
Fax:0595-24-7613 センター 中庭 3丁 生体は1月6日まで

2015年 6年目に突入!!

山あり谷あり、深あり浅あり、苦みり、水あり、引、こまみり

今年も6年目を迎えました。今年もいろいろな活動がありました。今年もいろいろな活動がありました。今年もいろいろな活動がありました。

今年もいろいろな活動がありました。今年もいろいろな活動がありました。今年もいろいろな活動がありました。

今年もいろいろな活動がありました。今年もいろいろな活動がありました。今年もいろいろな活動がありました。

新年あけましておめでとうございます!今年もよろしくお願ひします!!

12月10日(金) 1月10日(金)

市社活動12分野に対する自分の中で、自分には関係ないか?と思ってる活動は、ないですか? 全部の活動に、自分も自分なりに参加したい。そんなことを感じてもらえ、集りたくなるような活動を、気軽に始めて下さる!!

今日のテーマは 地域安全 です。

12月24日(金)

毎日の活動や生活を通して、様々な問題・ポイントに気づいていきながら、新しい活動や取り組みのアイデアを、集りたくなるような活動を、気軽に始めて下さる!!

1月27日(金)

あけましておめでとう! 今年もよろしくお願ひします!!

12月26日(土)

今年もいろいろな活動がありました。今年もいろいろな活動がありました。今年もいろいろな活動がありました。

今年もいろいろな活動がありました。今年もいろいろな活動がありました。今年もいろいろな活動がありました。

今年もいろいろな活動がありました。今年もいろいろな活動がありました。今年もいろいろな活動がありました。

今年もいろいろな活動がありました。今年もいろいろな活動がありました。今年もいろいろな活動がありました。



# ▶▶▶▶▶ がんばれネットワーク ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。藤原町の近藤正治さんからバトンを手渡されたのは「市民ガーデンティルス」の代表である川戸由起さん。桑名市内にある藤が丘デザイン公園を基本フィールドにし、花を植えるなどの活動を行っています。

## 名もない人の行動が社会を変えていく

……最初に川戸さんのお仕事について伺いたいのですが？  
リバーズ・ランドスケープ・デザインという庭をつくるデザイン事務所を経営しています。  
……造園の仕事をされている川戸さんが、環境系の市民活動を始めるようになったきっかけを教えてください。  
97年にアメリカのシアトルにあるワシントン州立大学で夏休みを利用して開催された日本人向けの環境デザインセミナーを受講しました。この大学にはランドスケープデザイン科があり、担当教授が講義や視察などプログラムを組んで教えてくれました。その視察で初めて、NPOが運営しているコミュニティガーデンを知りました。放課後に子どもたちが遊びに来たりするチルドレンズガーデンでした。  
……その時に、市民活動を始めようと思われたのですか？  
いいえ、その時の私は帰国して、「どうやって自分の会社を興そうか」ということばかり考えていましたから。  
……では、直接のきっかけは何だったのでしょうか？  
仕事を始めてからですね。庭づくりが好きな人たち5〜6人と話をしている「公園に市民が花を植えてもいいよね」と、盛り上がったんです。その時に「私は良いモノを見てきたんだ」と思い出しました。  
……眠っていたものが、人との出会いで刺激されたのですね。  
あと、原点は高校3年生の時、体育祭の準備に関わった時にあったんです。それまで紅白対抗戦で体育祭を行っていたんですが、マンネリで全然盛り上がらなかったんです。それを1〜3年生が同じチームになるよう、6色の縦割りにし、競技内容や採点方法まで変えました。生徒会執行部もすごく頑張って、大変な大改革でしたけど、結果は大成功。同じ組というだけで、3年生が名も知らない1年生を激励したり、連帯感が生まれました。それまでさぼる人も多かったのに、その年は人がトラックの周りから動かなかったんです。凄い充実感を感じた体験でした。今、ほとんどの学校は運動会を縦割りでを行っていますね。私、その原点は母校だと信じています。今となっては誰が、いつ始めたのかわからない。それが昔、ある高校の生徒が頑張った成果だった…なんて良いでしょう？  
……名もない人が始めたことが、後々スタンダードになっていく。何十年か先に、それがいつ始まったのかわからないけれど、当たり前のようになっていく。そういう世の中の変え方というか、変わり

## 市民ガーデンティルス代表



川戸由起 さんに 聞く

方。そうやって変わってきたことの方が、「制度や政策を変えよう」として変えたことよりも多いんじゃないかと思うんです。

## 公園を自分たちの財産だと思おう！

……川戸さんが行われている市民活動について教えてください。市民ガーデンティルスという団体で、公園に花を植えるなどの活動をしています。「ティルス」というのは耕作地、耕すという意味です。  
……設立は？  
99年の9月ですが、春ぐらいから動き始めました。先にも言いましたが、それまでに数人の人と「公園に花を植えたいね」と話をしていました。それで取りあえず一人で、桑名市の都市計画課公園係に出かけました。ただ最初は私一人では、全然実体が無いということで先方も「どうしたらいいのかわからない」という感じでした。  
……いきなり一人で考えて、一人でいったんですか？  
そうですね。それで「一人がダメなら、グループになればいいの」と、やる気のある人が集まって会をつくりました。早速、公園係に行き、この時は場所の話になりました。それで私たちが現在、活動している藤が丘デザイン公園でやりたいと話したんです。  
……まず行動で示し、理解を求めたのですか？  
公園に花が植えられるようになったのは三重環境県民会議の実施している環境創造活動助成金の助成対象になったことも大きいんです。その結果を示して、「これは、とても良い活動だと言ってもらえているんですよ」と公園係を説得しました。第三者の評価は活動を後押ししてくれますね。あと、まちづくり市民財団のアウトドアクラスルームという助成も受けています。ただこれらは資金のためというより、行政や市民の方に向かって活動をアピールするために申込んでいます。お金のことは、自分たちでなんとかできますから、問題は場所。今のところ、行政的な制度上は占有ということで1年契約をしています。  
……活動を始めてから行政の方の対応は変わりましたか？  
活動を始める時に、当時の課長さんがご尽力くださったのは凄く嬉しかったですね。行政にも一生懸命になってくれる人がいるって。  
……占有契約ができるようになったことを、川戸さんは進歩だと受け止めていますか？  
活動内容と、それを当てはめる制度が相応しいかどうかは、行政と市民の両方がすりあわせていかないとダメですよ。その時点でベターな選択をしていく柔軟さが、必要だと思います。  
……ステップアップするとしたらどういうカタチになるのでしょうか？  
次は協働事業ですね。行政の方にも現状を変えていくという情熱を持っていただくと、良い方向に行くと思います。今は、公園係の方も注意深く、前向きに考えてくださっていると思います。  
……メンバーにはどういう方がいますか？  
メンバーは現在15名ほどですが、地元のコンクリート屋さん、建築家さんや造園技能士さん、まちづくりの市民活動をやっている人もいれば、理科の先生もいます。副代表の一人は県の農業改良普及技術員なんですが、私はその人の仕事を知らずに誘ったんです(笑)。みなさん、それぞれ他にも興味を持っていて、掛け持ちで入っている人もいます。だから何かしようという時にはすばいですよ(笑)。  
……それではそれぞれの興味の方向も違うのでは？  
里山保全のようなことをしたいという人もいましたし、花を育てるのが良いという人も、それも綺麗に植えるのではなく、野原や花畑のようなイメージにしたいとか。ビオトープをつくりたいという人もいま



た。ただみんな、個人の責任で、自分の肩書きを越えて動ける人たち  
ですので、それぞれの人脈も活用して活動してくれるんですよ。  
……人によってイメージが違くと、調整が大変でしょう？  
逆に、全員の興味の対象が違うということは凄い戦力。ニュータウン  
で育つ子どもたちに、身近な自然とふれあう場所をつくるという活  
動を続けていけば、いずれは多分野の知識や能力が関係してくる  
だろうと思っていました。

……それはリーダーとして先見の明があるというか…。  
活動を始めてから教えてもらったことですね。メンバーの想いを実現  
させるために、市民ガーデンティルスの名前や実績が有効なら、利用  
してもらえばいいと思っていますし、私もそうさせてもらっています。

## 原点は自分たちの手で、一人の 個人として、社会の中に何かを 残したいということですから。

……活動はいつ行っているのですか？

月1回、第3日曜日の午前中に行っています。1時間ほど、草取り  
や花植えという作業をして、その後は新しい人や近所の子ももち  
も参加できるような催しをしています。これまでにクリスマスリースづ  
くりやシイタケの菌打ち体験、丸太のイスづくりなどをしました。

……活動場所は？

藤が丘デザイン公園の中に10m四方の区域を借りています。来て  
いただければわかりますけど、そこだけ明らかに他とは違うんですよ。  
今年の春はこれまでで一番綺麗に花が咲いて、知らない人がお花  
見や写真撮影に訪れていました。遊びに来てくれて「そういえば、こ  
こを綺麗にしたのは誰なんだろう?」と思ってもらえたらいいな。

……市民ガーデンティルスの活動だとアピールしないのですか？  
別に隠れてこそそそやっているわけじゃないですけど(笑)、ここの  
作業をしているのが誰かは言いたくなかったんです。でも、誰でも参  
加できるのだと知らせた方が良くという声も出てきたので、今年に  
なって初めて「市民ガーデン」という手づくりの看板を立てました。

……公園という場にこだわっているのはなぜですか？

やはり原点は、自分たちの手で、一人の個人として、社会の中に何  
かを残したいということですから。自分たちの活動が何十年か後に  
社会を変えていくかもしれないという実感を持ってもらうには、公共  
の場で活動することが必要だったんですね。

……川戸さんの活動は公園という公的な場と、庭という私的な場。  
その真ん中のような状態をつくっているような気がします。

人には「公園を自分たちの財産だと思おう」と説明するんですけど  
…。公共の場を自分たちの財産だと考えて、もっと積極的に利用方  
法を出していった方がいいと思うんです。それは公園でもいいし、まち  
周辺に残された里山でもいい。

……今後の活動について教えてください。

最近では市民活動センターやいろんな所で勉強もしたいし、お知り合い  
も増えてきたので、そのネットワークを活用させていただいて、来年  
度は外へ向けて提案していこうと考えています。身近な自然をフィー  
ルドに活動していますから、多分ニュータウン周辺の山の使い方を  
みんなで考えていこうな提案になると思います。この時、他のグル  
ープの方とも一緒に活動できればいいな。もちろん、市民ガーデ  
ンティルスに入ってもらおうというのではなく、協力してということ  
です。……ネットワークの長所をいかした活用方法ですね。

活動をしているとボランティアをしたいと思っている人などにも出会  
います。そういう人たちに来てもらえれば、活動や人を紹介できるな



藤が丘デザイン公園にある市民ガ  
デン。右は手づくりの看板です。



左は丸太のイスづくり。右はシイタケの菌打ちの様子です。

と。漠然とですが、求めている人同士が会える場所をつくりたい  
と思っています。いろんなことをやっている人が緩やかに集まって  
くる。その方が意外性というか、可能性は広がるんじゃないかなと。

## これからの生活スタイルをみんなで考える

……川戸さんのような専門家が、環境活動に関わるメリットは？  
自分のノウハウが邪魔することの方が多いいと思いますね(笑)。段取  
りなどにしても型にはまっているんですよ。それが皆さんはもっと  
ダイレクトに動いたりして、新鮮です。まず人に聞くのではなく、自分  
たちで調べたり、考えてから動くんですよ。試行錯誤しつつ、自分の  
力を試せるので、やりがいがありますよね。

……でも植樹するにしても、専門知識は必要でしょう？  
それは実際に林業をされている方や農家の方に来てもらって教え  
てもらいます。

……川戸さんはアドバイスしないのですか？  
やり方はみんなで相談して決めます。メンバーには、教えてくれる  
人、知識を持っている人が私以外にもたくさんいますから。

……自分で抱え込まず、人をお願いすることで輪を広げる？  
どちらかと言えば私が助けてもらっていると思います。それに一人  
の判断で動くのではなく、何人かで、いろんな角度から見た方が絶  
対に良いと思います。事業を行うにしても、ティルスではさまざま  
方と一緒にできるような企画にしています。例えば、毎年3月に行っ  
ている『ニュータウンde里山』では、精神障害を持つ方たちが参加  
している「はあぶ工房Together」さんにハーブティーを持ってきて  
もらったり、ご近所の主婦の方で仲間を作ってクッキーを焼いても  
らったり、とかね。

……環境分野以外の所とも繋がりをつくっているのですね。  
生きるためには水だけで良いはずなのに、私たちは一服したい時  
にコーヒーやお茶を飲みますよね。そういう生活の流れの中で環境  
を考えることが必要だと思うんです。多分、行き着くのは自分たちの  
生活スタイルをどうするかということでしょう。それを考えるには環境  
に興味のある人だけで考えてはダメ。テニスに夢中なお母さんも、  
ゲームに一生懸命な子どもも一緒に考える。そのためにはティータイ  
ムを催すなど、話の輪に入りやすいようにしていかなければ…。

……その方がたくさんの方が入ってきやすいでしょうね。  
それがきっかけになって自然に増えていったらいいですよ。そし  
て何十年後かには公園で市民が花を植えたり、周辺の緑を手入れ  
していたり。そういう姿が当たり前になっていけばいいですね。

市民ガーデンティルス

住所/桑名市中央町1-8東和ビル2階市民活動共同センター内  
Tel.0594-27-2700 Fax.0594-27-2733

川戸由起さんはこの人を **紹介** します。

郷司房夫さん

桑名市の殿様御台所祭りの実行委員として12年間、関わってきた郷司  
さん。今後の桑名のまちづくりには欠かせないキーマンです。

お  
ね  
が  
い

市民活動ニュースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。  
(1)原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日  
までにお送りください。

(2)送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動ニュースへ  
の掲載のお願い」と件名を明記してください。

Fax.059-222-5971 E-mail open@mienpo.net

転載を希望される場合は必ずNPO担当に連絡してください。

**R100** PRINTED WITH SOY INK 古紙100%、白色度83.5%の紙と環境にや  
さしい植物性大豆インキを使用しています。